

地域クラブ活動に関するアンケート結果について（報告）

1 報告の趣旨

本資料は、スポーツ庁・文化庁の「部活動の地域移行に関する検討会議提言」を踏まえ、本町が推進する地域クラブ活動の今後の方向性を検討するため、町内児童・生徒を対象に実施したアンケート結果について、教育委員会へ報告するものです。

アンケート結果を基に、児童・生徒の実態や意向を把握し、次年度以降の地域クラブ活動の充実および運営改善に活かすことを目的としています。

2 アンケートの概要

- (1) 実施主体 武豊町教育委員会 生涯学習スポーツ課
- (2) 実施期間 令和8年1月7日～1月30日
- (3) 実施方法 Logo フォームによるオンラインアンケート
- (4) 対象者 町内小学校4～6年生、町内中学校1・2年生

3 回答状況

回答人数：1,668人（1,977人中 回答率84.3%）

【校種別内訳】

小学校（4～6年生）：952人（1159人中 回答率82.1%）

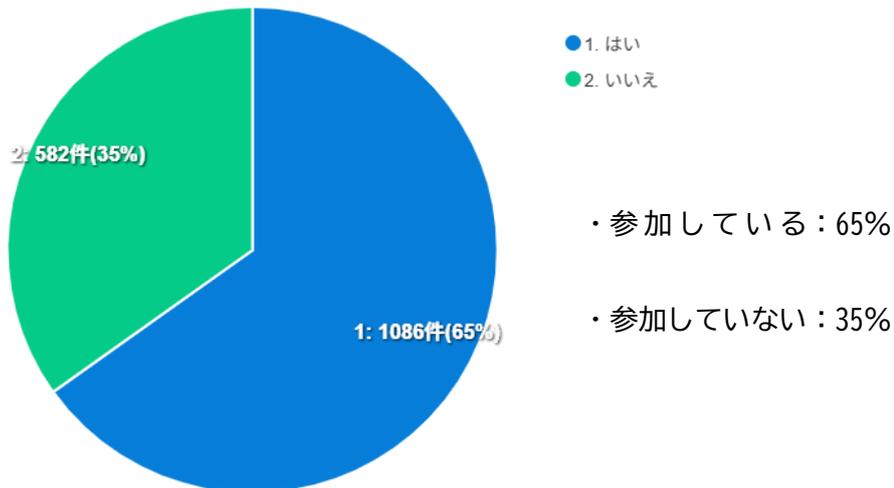
中学校（1・2年生）：716人（818人中 回答率87.5%）

4 アンケート結果

(1) 現在の運動・文化活動の状況

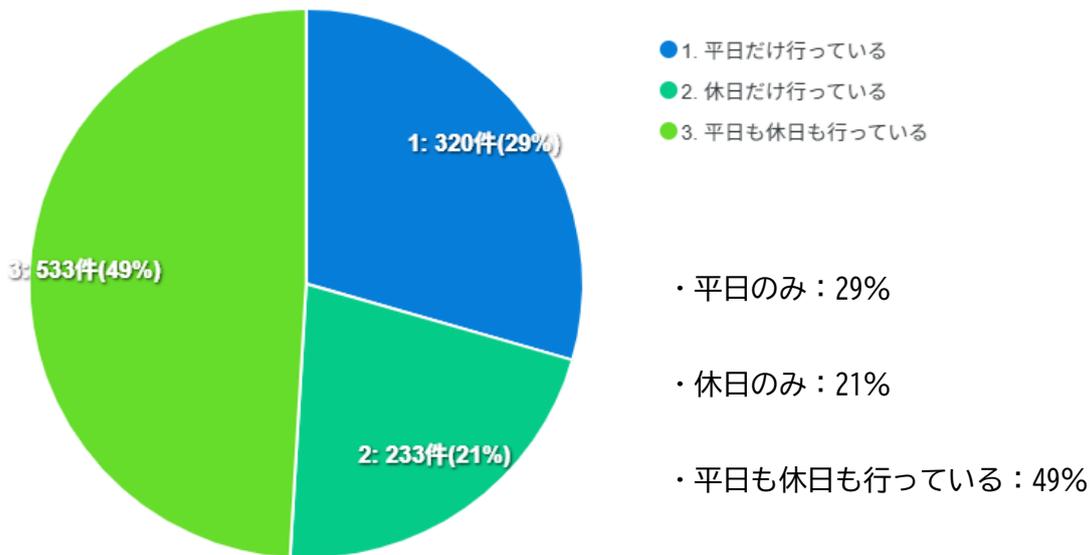
学校部活動や習い事、地域クラブ等への参加状況を把握。

Q1：現在、学校の他に、希望するスポーツや文化・芸術活動ができる習い事や地域クラブに参加しているか ※武豊町以外の場所でもよい



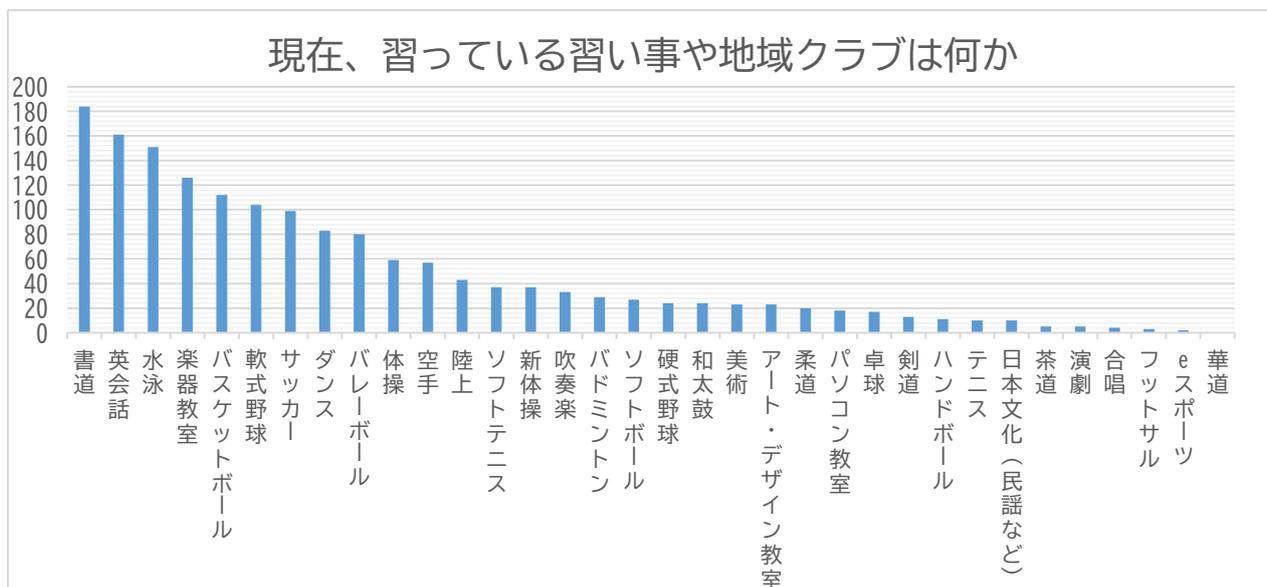
【内訳】				
小学生	参加している	648人 (68%)	参加していない	304人 (32%)
中学生	参加している	438人 (61%)	参加していない	278人 (39%)

Q2：習い事に参加している人は、どのくらいの頻度か



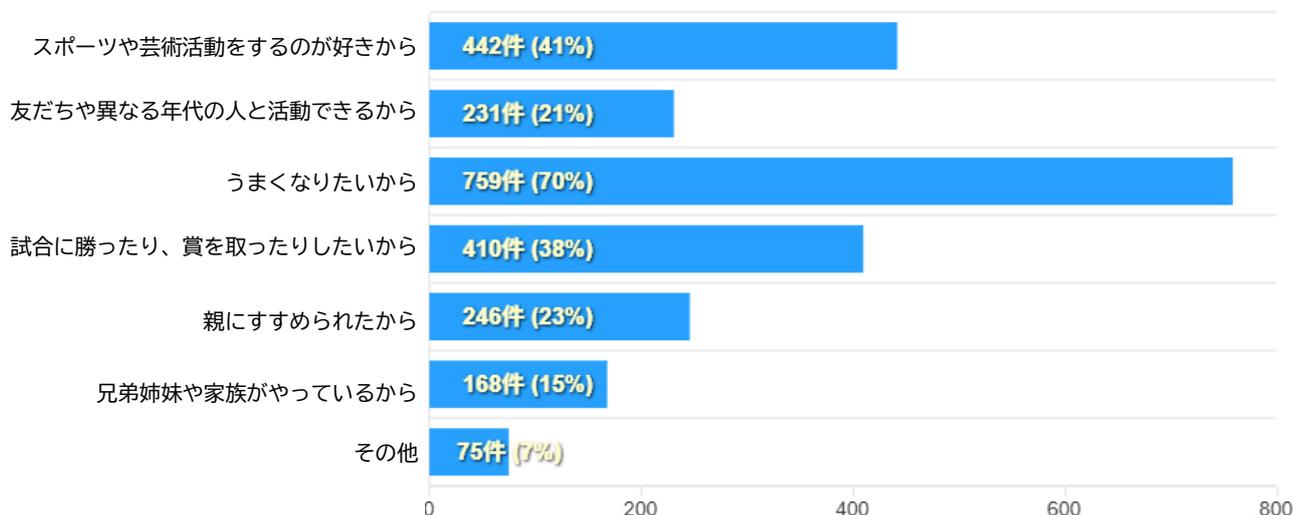
【内訳】						
小学生	平日のみ	215人	休日のみ	135人	平日も休日も	298人
中学生	平日のみ	105人	休日のみ	98人	平日も休日も	235人

Q3：習い事に参加している人の中で、現在、習っている習い事や地域クラブは何か



- ・スポーツ分野だけでなく、文化・芸術分野についても幅広く取り組んでいる。
- ・その他の回答として、「ドッジボール」「そろばん」「お雛子」「料理」などが挙げられた。

Q4：習い事に参加している人の理由

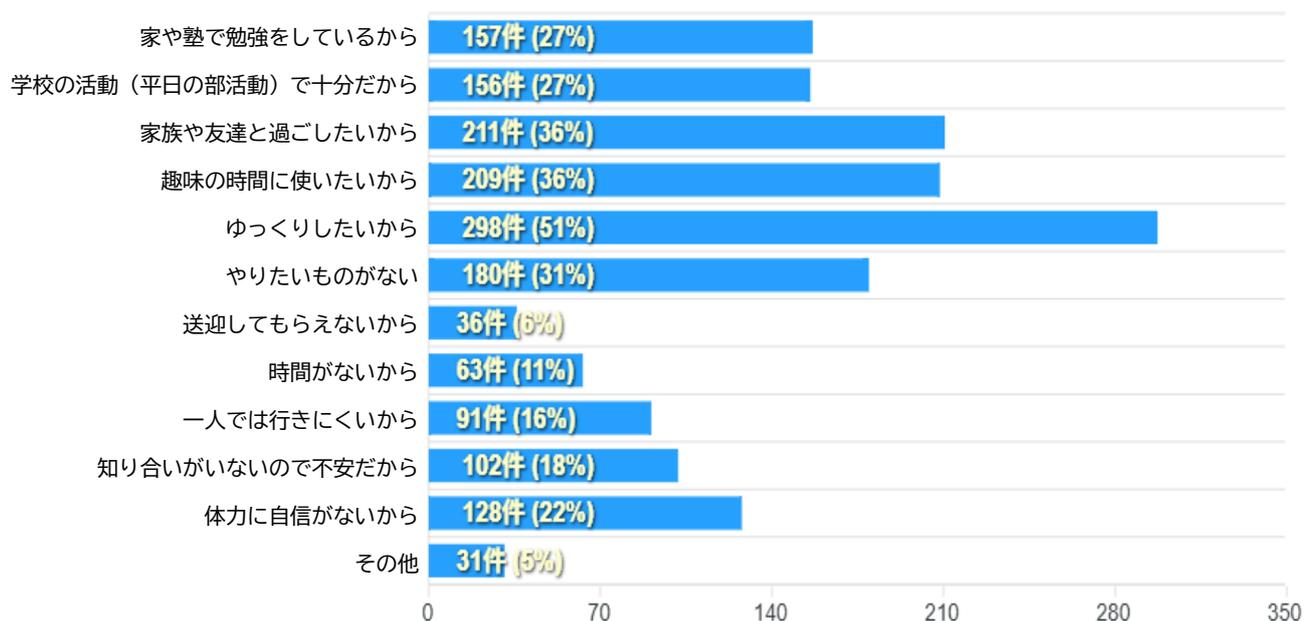


※本設問は複数回答のため、合計は100%にならない

活動に参加する理由については、「うまくなりたいから」が70%と最も高く、技術の向上や成長への意欲が強いことが分かる。次いで、「スポーツや芸術活動をするのが好きだから」が41%、「試合に勝ったり、賞を取ったりしたいから」が38%となっており、楽しさとともに、成果や達成感を求める意識も一定程度見られる。

その他の回答として、「友達に誘われたから」「友達がやっていたから」など、友人関係が参加や、「楽しいから」「体験してみたら楽しかったから」など楽しさや興味・好きという気持ちを理由とする回答が多く見られた。

Q5：習い事をしていない人の理由

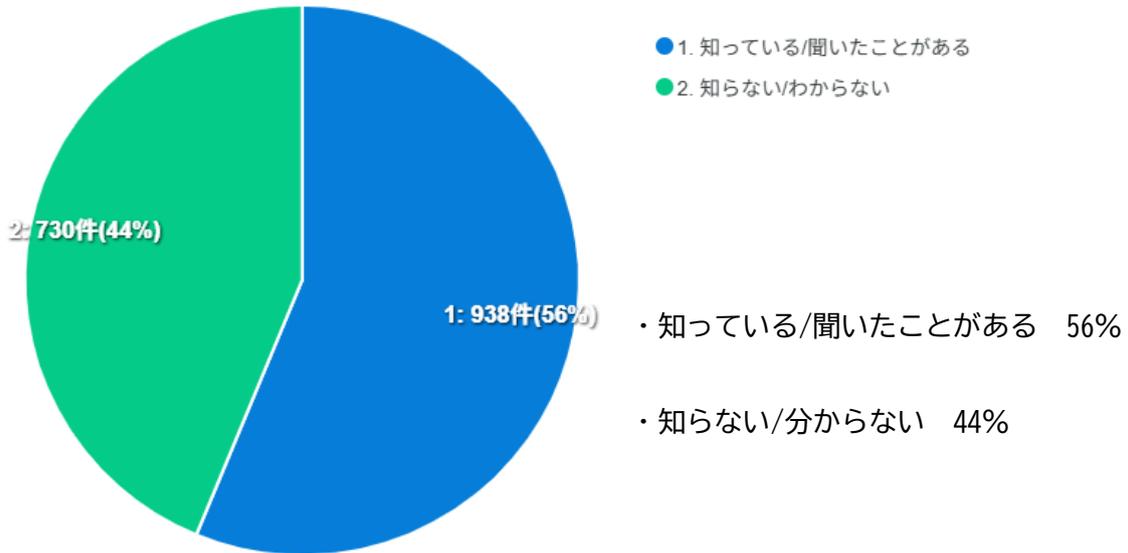


※本設問は複数回答のため、合計は100%にならない

習い事をしていない理由については、「ゆっくりしたいから」が51%と最も高く、学校生活や日常生活の中で、休息や自由な時間を求める意識が強いことが分かる。また、「家族や友達と過ごしたいから」(36%)や「趣味の時間に使いたいから」(36%)といった回答も多く、放課後や休日の時間を自分なりに大切に使いたいという意向がうかがえる。

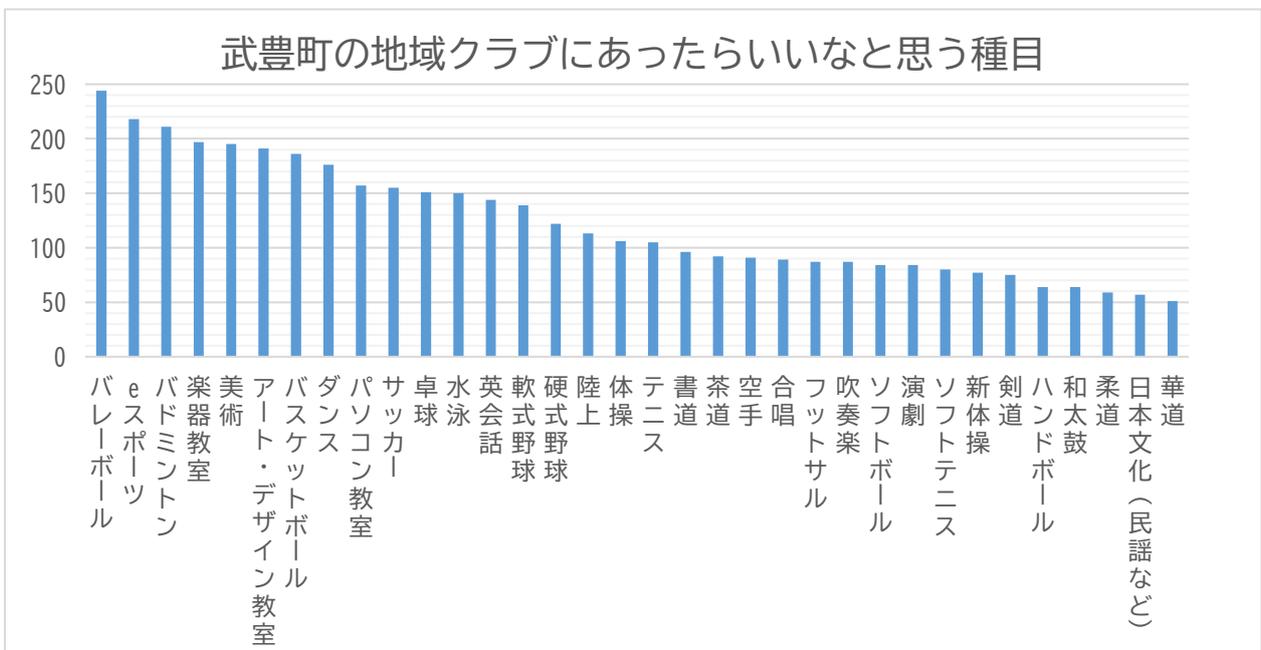
一方で、「やりたいものがない」(31%)、「学校の活動（平日の部活動）で十分だから」(27%)、「家や塾で勉強をしているから」(27%)といった回答からは、現状に満足している、あるいは活動の選択肢が自分に合っていないと感じている児童・生徒の存在が読み取れる。

Q6：武豊町に登録している地域クラブを知っているか。



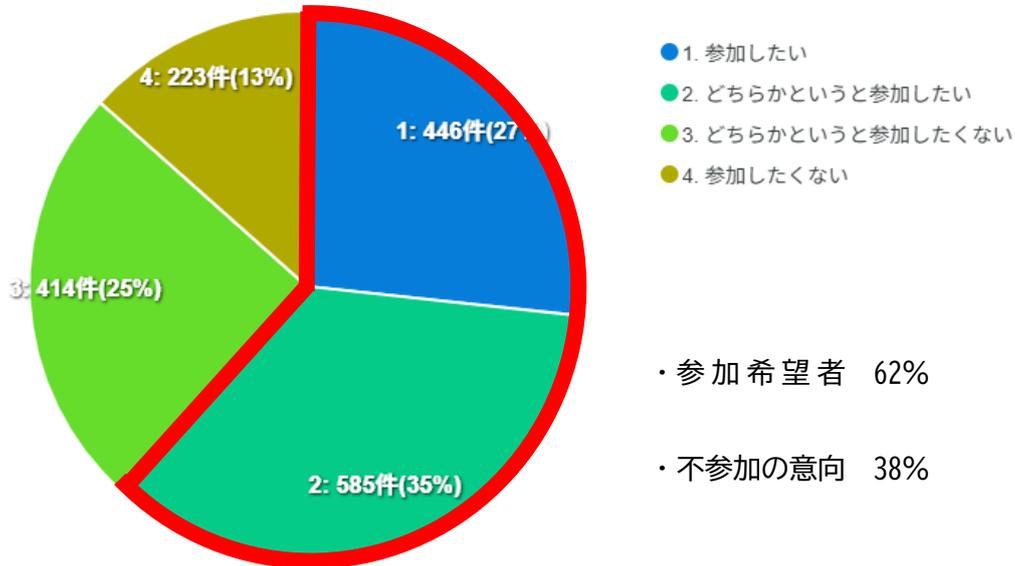
武豊町に登録している地域クラブについては、半数以上の児童・生徒に一定程度認知されていることが分かる。一方で、「知らない／分からない」と回答した割合も約半数を占めており、地域クラブの存在や内容について、十分に情報が行き届いていない層が一定数存在することが明らかとなった。

Q7：武豊町の地域クラブにあったらいいなと思う種目



武豊町にあったらよいと思う種目については、現在、武豊町の地域クラブに登録のない種目として、「eスポーツ」「美術」「パソコン」などの文化・芸術分野のほか、「ダンス」「野球」などのスポーツ分野が多く挙げられ、これらの種目への関心の高さがうかがえる。

Q8：来年度、希望するスポーツや文化・芸術活動ができる武豊町内の地域クラブや習い事があつたら参加したいか



【内訳】

小学生	参加希望者	64%	不参加の意向	36%
中学生	参加希望者	59%	不参加の意向	41%

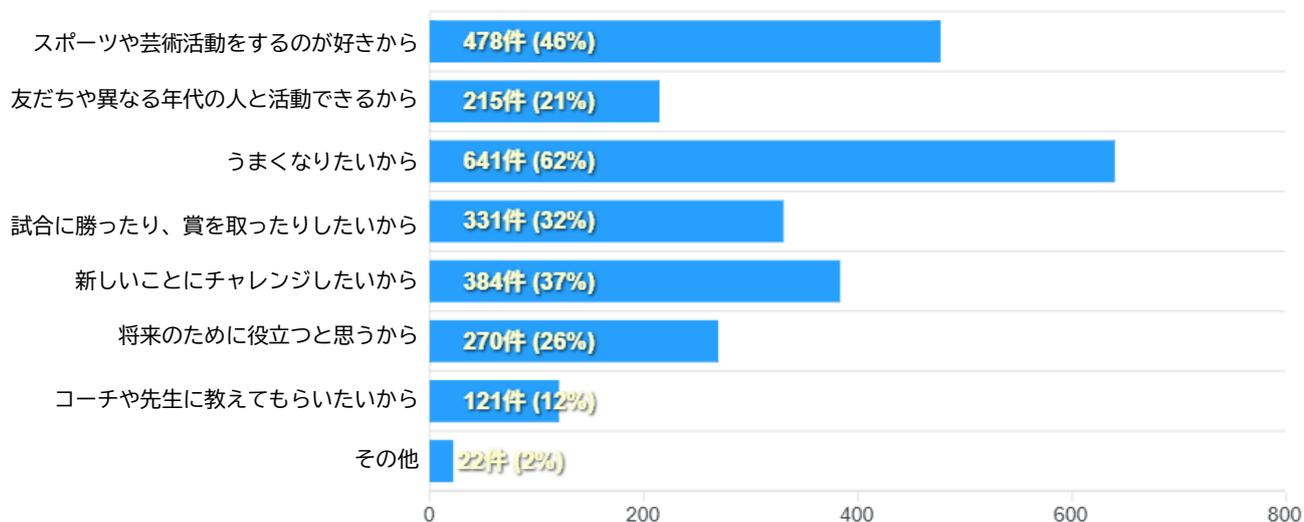
来年度、希望するスポーツや文化・芸術活動ができる武豊町内の地域クラブや習い事があつた場合の参加意向については、参加に前向きな回答は合計で62%に達している。一方で、参加に消極的な回答も38%見られた。

【昨年度のアンケート結果】

令和6年度 参加希望者 72%、不参加の意向 28%

参加に前向きな割合は前年度と比較して10ポイント減少していることが分かる。特に、「参加したい」という積極的な回答が減少しており、参加意欲にやや慎重さが見られる結果となった。

Q9：来年度、参加希望者の理由

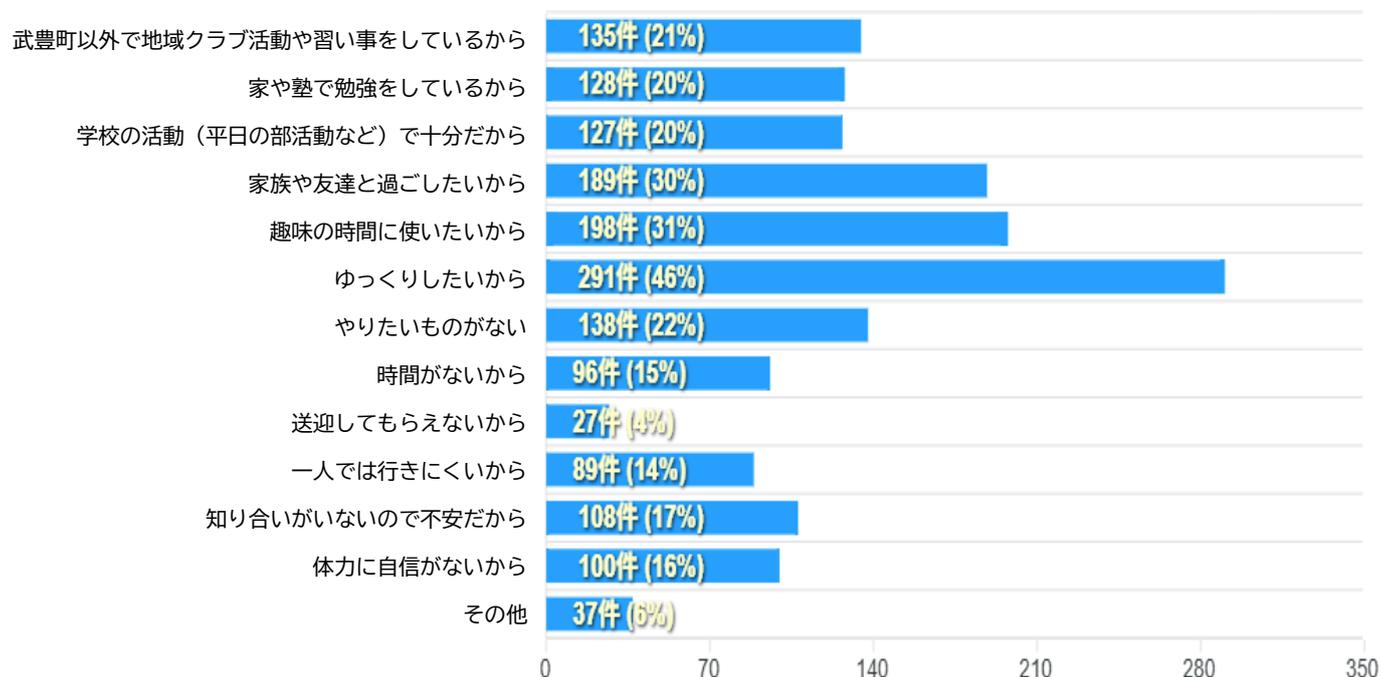


※本設問は複数回答のため、合計は100%にならない

参加を希望する理由については、「うまくなりたいから」が62%と最も高く、技術の向上や成長を重視する意識が強いことが分かる。次いで、「スポーツや芸術活動をするのが好きだから」が46%と高い割合を示しており、活動そのものへの興味や楽しさが参加意欲につながっていることがうかがえる。また、「新しいことにチャレンジしたいから」が37%、「試合に勝ったり、賞を取ったりしたいから」が32%と、挑戦や達成感を求める意識も一定程度見られた。

一方で、「コーチや先生に教えてもらいたいから」は12%にとどまっており、指導体制そのものよりも、活動内容や自己成長への期待が参加理由の中心となっていることがうかがえる。

Q10. 来年度、不参加の意向者の理由



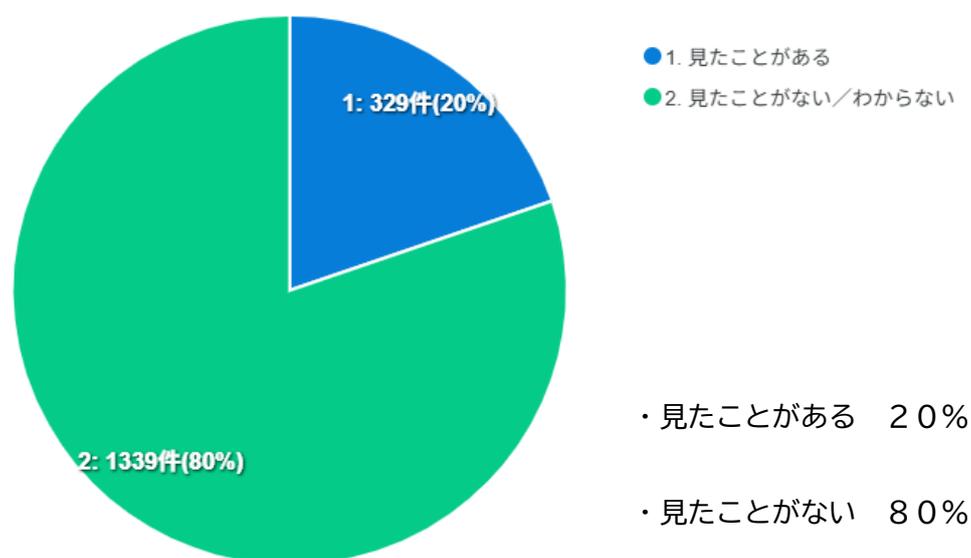
※本設問は複数回答のため、合計は100%にならない

参加を希望しない理由については、「ゆっくりしたいから」が46%と最も高く、生徒の生活の中で休息や余暇の時間を重視する傾向が強いことが分かる。次いで、「趣味の時間に使いたいから」(31%)、「家族や友達と過ごしたいから」(30%)といった回答が多く、学校外の活動においても、自由な時間の確保を大切にしている様子がうかがえる。

また、「やりたいものがないから」(22%)、「武豊町以外で地域クラブ活動や習い事をしているから」(21%)、「家や塾で勉強をしているから」(20%)、「学校の活動（平日の部活動など）で十分だから」(20%)など、既存の活動や学習との両立が難しいと感じている生徒も一定数見られた。

一方で、「送迎してもらえないから」は4%と比較的低く、参加にあたっての課題は交通手段よりも時間的・心理的要因が大きいことが分かる。

Q11. 「たけとよ地域クラブ通信」を見たことがあるか。



「たけとよ地域クラブ通信」は、Home & School を活用し、毎月保護者向け連絡アプリを通じて配信しているが、今回の結果から、保護者には届いている一方で、児童生徒本人まで十分に内容が共有されていない可能性がうかがえる。

今後は、配信方法の工夫に加え、学校内での掲示や紹介、児童生徒向けに分かりやすく編集した資料の活用など、子ども自身が直接情報に触れる機会を増やす取組が必要であると考えられる。

6 アンケート結果の総合的なまとめ

調査の結果、スポーツや文化・芸術活動に対しては、「活動することが好き」「うまくなりたい」「新しいことに挑戦したい」といった前向きな意欲が多く見られ、地域クラブ活動に対する一定の関心と潜在的なニーズがあることが確認できた。

一方で、参加を希望しない理由としては、「ゆっくりしたい」「趣味や家族・友人との時間を大切にしたい」など、時間的・心理的なゆとりを重視する傾向が強く表れており、地域クラブ活動の推進にあたっては、無理のない参加形態や選択の幅を確保することの重要性が示唆された。

また、武豊町の地域クラブや広報媒体については、「知っている」「見たことがある」と回答した割合が必ずしも高くなく、特に「たけとよ地域クラブ通信」は、保護者向けに配信している一方で、児童生徒本人への認知が十分に広がっていない状況が明らかとなった。

さらに、「あったら参加したい種目」としては、既存の地域クラブにないスポーツ分野や、eスポーツ・美術・パソコンなどの文化・芸術分野への要望が多く、活動内容の多様化への期待も読み取れる結果となった。

これらのことから、今後の地域クラブ活動の充実に向けては、活動内容の拡充に加え、参加しやすい環境づくりや、児童生徒・保護者双方に分かりやすく届く情報発信の工夫が重要であると考えられる。

本アンケート結果を、次年度以降の地域クラブ活動の運営および施策検討に活かしていく。